

課題と方向性についてのご助言等に対する区役所回答

1－①地域課題の解決に向けた取り組み

○北区社会福祉協議会会長 小玉 始 委員

「マンションコミュニティ支援事業」を通じて、今後も積極的に防災（防災講座）・福祉（百歳体操等）の事業の推進をお願いします。

◇区役所地域課、健康課

令和２年度マンションコミュニティ支援事業の委託業者を８月に選定し決定しました。

今年度も引き続き居住者同士の交流のきっかけづくりの一つとして、希望するマンションに防災をテーマとした講座・訓練・災害時の基本ルール作り・自主防災組織の設立などを支援します。

また、マンションコミュニティ事業と連携し、高齢者の介護予防・認知症予防を目的としたはつらつ脳活性化事業のマンション等での推進に努め、いきいき百歳体操やはつらつ脳活性化教室を実施します。

2－②安心して暮らすことのできる支援の充実

○大阪市北区薬剤師会会長 坂東 俊完 委員

区役所ではこれまで、映画上映会での事業説明やイベントなどで物品配布など様々な啓発を行っておられる。

物品配布の啓発は、常に使用するもの、目に触れるもので行うことが望ましい。また、興味がない方への啓発をすすめるにあたり、幅広い世代が使用できる物品を、あらゆる機会を通じて配布・置き配できれば効果は見込まれる。

薬剤師会では、かかりつけ薬局を持っていただくための啓発やお薬手帳の配布を行っており、地域の方の健康増進に取り組んでいる。

例えば、手帳カバーを啓発に利用すれば、お薬手帳、保険証、母子手帳など幅広い世代が利用でき、イベントに限らず窓口などで置き配ができ、広く周知できるのではないかと考えています。

◇区役所福祉課

これまで様々な事業を通して、認知症・子育て支援（里親）などの理解を進めてきました。啓発物品においても末永く活用していただける物品を選出し、配布してきました。また、特に今年度はコロナ禍のため、イベント実施が困難であり、これまで以上に啓発方法について検討していかなければならないと考えております。

ご提案いただきました手帳カバーについても検討してまいります。